

クマ出没に注意

6月以降、町内でクマの目撃情報が多発し、クマによる人身被害も発生しています。林に近いところでの農作業や散歩の際には十分に注意してください。特に登山や山菜採りなどで山に入る場合は、次のことに注意しましょう。

◆問い合わせ 町農林課農業振興係 ☎82-3111(内線213)へ。



昨年織笠地区に出没したクマ

遭遇しないための行動を

①早朝や夕方は山林に近寄らない

早朝や夕方の薄暗い時間帯は、クマの活動が活発になります。この時間帯は山林に近寄らないようにしましょう。

②声や音を出して歩く

クマは人の存在を察知するとその場所を避ける傾向にあります。入山したときは、複数人で会話をしながら歩いたり、鈴やラジオを鳴らしたりするなど、自分たちの存在を知らせることが有効です。

③足跡や糞を見つけたら引き返す

地面にクマの足跡や糞、木などに爪痕などの痕跡を見つけたときは、周囲に細心の注意を払いながら、直ちにその場から引き返しましょう。

◆町内での出没状況(6月2日～7月2日)

出没日	地区	状況
6月2日	織笠・草木地区	1頭を目撃
6月3日	織笠・希望ヶ丘団地付近	1頭を目撃
6月7日	山田・関口地区	足跡など発見
6月10日	大沢・山谷地区	倉庫内に侵入
6月18日	飯岡・山田変電所付近	1頭を目撃
6月30日	豊間根・田名部地区	1頭を目撃
7月2日	大沢・川向地区	人身被害発生

④出没情報を確認する

6月2日から7月2日までの出没状況は上表のとおりです。目撃情報が寄せられた際には町の防災無線でお知らせしていますので、放送内容を確認して、出没した地域の山林付近などには近寄らないようにしましょう。

町農林課公式Twitterアカウント
でもクマ情報を発信しています



遭遇してしまったときは

①慌てずにそっと立ち去る

クマは逃げるものを追いかける習性があるため、背中を見せて逃げると襲ってくる可能性があります。クマが遠くにいる場合は、慌てずにそっと立ち去りましょう。近くにいる場合は、クマから目を離さず、ゆっくりと後ずさりをして距離を取ってください。十分な距離が取れたら、静かに立ち去りましょう。

②騒がず冷静な行動を

クマと対峙したときには、騒がずに冷静になることも重要です。大声を出したり、物を投げつたりするなど、クマを刺激するような行動は絶対にしないでください。



③子グマでも油断をしない

子グマの近くには母グマがいます。母グマは子グマを守るために人を攻撃してくる可能性が高く、たいへん危険です。遭遇したクマが子どもだからといって油断せず、周囲を確認しながら、冷静な行動をとりましょう。

④襲われそうになったときは頭と首を守る

クマに襲われそうになったときは、地面に伏せ、両手で首の後ろをガードして頭と首を守る防御姿勢をとりましょう。クマからの攻撃を避けるための「死んだふり」は、その効果に根拠が無く危険ですので、絶対にやめましょう。

鳥獣被害対策実施隊員を募集

町では、クマやシカなどの有害鳥獣による農作物被害を防止するため、山田猟友会員で構成する「山田町鳥獣被害対策実施隊」を結成しています。町の豊かな農林産物を守るため、あなたも隊員に加わりませんか。入隊方法などの詳しい内容は、町農林課へお問い合わせください。

クマの目撃現場付近で追い払い作戦を練る隊員の皆さん

